

記載例

事業実施主体名:

〇〇区

別記様式第1号にある事業費総額(A)のうち10万円に満たない額(B)を記載してください。

【事業収支の内訳】

収入内容	金額(円)	備考
コミュニティ助成金(=A-B)	助成申請額	例)一般コミュニティ助成事業
例)寄付金	一般財源等充当額	例)〇〇月〇〇日現在〇〇円
例)〇〇自治会一般会計(または特別会計)、積立金	一般財源等充当額	例)〇〇月〇〇日残高〇〇円

収入内容、備考:事業費総額からコミュニティ助成金を除いた、一般財源等充当額の内訳及び算定根拠を記載してく

事業収入合計(=事業費総額A)

0

見積書番号	設備・備品名	数量	単価(円)	金額(円)	対象外経費	整備目的・用途	広報表示	保管場所 設置場所 名称
1	物置						○	〇〇集会所敷地
1	テーブル						○	〇〇集会所
2	太鼓						○	〇〇集会所
2	太鼓バチ						○	〇〇集会所

見積書番号: 見積書に付した番号を記載してください。

設備・備品名: 整備する備品・設備の名称を、原則見積書記載事項と一致するように、記載してください。

規格・仕様・形式・メーカー等: 原則見積書やカタログ等の記載事項と一致するように、記載してください。

対象外経費: 対象外となる経費に「○」を記載してください。(対象外経費合計②に計算されます)

整備目的・用途: 整備する設備・備品の、整備する目的や用途を簡潔に記載してください。

広報表示: 広報表示を行う設備・備品(原則すべての備品・設備となります)に「○」を記載してください。

保管場所・設置場所名称: 設備・備品の保管場所、設置場所の名称を記載してください。(裏面の保管場所・設置場所の説明と一致するようにしてください)

対象経費合計①

対象外経費合計②

事業支出合計(①+②=事業費総額A)

記載例

【設備・備品の保管場所・設置場所についての説明】

保管場所・設置場所 名称	例)〇〇集会所		
所在地(地番)			
土地または建物の 所有者			
使用承諾の有無(無の場合の承諾予定日)			
権利部(乙区)の有無(有の場合のその内容)			
保管・設置場所の 説明			
管理方法			

保管場所・設置場所 名称	例)〇〇集会所		
所在地(地番)			
土地または建物の 所有者			
使用承諾の有無(無の場合の承諾予定日)	設備・備品の保管場所、設置場所をそれぞれ記載してください。		
権利部(乙区)の有無(有の場合のその内容)	「土地を要する場合」は土地、「建物を要する場合」は建物についての記載となります。		
保管・設置場所の 説明	所在地(地番): 土地又は建物の所在地及び地番(登記簿謄本で確認)を記載してください。 土地または建物の所有者: 所有者(登記簿謄本で確認)を記載してください。		
管理方法	使用承諾の有無(無の場合の承諾予定日): 設備・備品を維持管理する団体と、土地又は建物の所有者が別となる場合に記載してください。 権利部(乙区)の有無(有の場合のその内容): 土地登記簿謄本を確認して、記載してください。 (建物登記簿謄本の確認は不要) 保管・設置場所の説明: 保管・設置場所として選定した理由を記載してください。 管理方法: 管理規程に従って管理方法を簡潔に説明をしてください。		